

第4次宮代町総合計画後期実行計画

資料1



将来都市像 みどり輝くコンパクトシティ

- ・人口減少、超高齢社会に対応できるまち
- ・今ある強みを最大限に活かせるまち
- ・「農」のあるまちづくりを全面展開するまち
- ・多様な主体により公共が運営されるまち

【構想1】人、活動、地域をつなげる

- ・地域コミュニティの活性化を図るため、積極的な働きかけ。
- ・地域を横断する志縁団体を結びつけ、活動を広げる。

【構想2】交流人口を増やす

- ・駅や観光資源を中心に、宮代ならではの魅力を生かし、人の流れを作り出すことで、町の活力を高める。

【構想3】定住人口を増やす

- ・積極的に町の魅力を内外に発信し、定住を促す。
- ・子育て世代の定住希望者が安心して暮らせる環境を整備。

【構想4】産業を結び、活かし、広げる

- ・既存産業の発展とともに、農と商工の連携、福祉や観光、環境などを組み合わせることで、新たな産業を創出。

【構想5】公共施設の機能と役割の再編

- ・これからの人口構造やニーズに合わせて、今ある公共施設すべての機能、役割を見直し、合理的に再編。

基本構想(基本計画)期間

平成23年度～平成32年度

■前期実行計画事業 全28事業

前期実行計画期間 平成23年度～平成27年度



■後期実行計画事業 全22事業

- ・新規事業 2事業（子育て支援、産業）
- ・見直し継続事業 20事業

後期実行計画期間 平成28年度～平成32年度

総合計画審議会及び アンケート結果等より

A.事業の選択と集中、重点化

「事業数を減らして重点化すべき」

B.他部署との連携強化

「横の連携を強化して事業をより効果的に」

C.多様な担い手による事業運営

「民間企業、NPOなどの活用、キーマンの育成」

D.郷土愛を育む

「子どもたちが町に愛着を持てるように」

E.新しい村の再建

「農あるまちづくりの拠点として立て直しが必要」

F.産業の活性化、雇用拡大

「町の賑わい、起業誘致はトップセールス」

G.子育て支援

「共働きを支援し、みんなで子育てを応援」

H.定住促進、人口増対策

「町の良さをPR、既存住宅地の再生」

I.健康づくり、介護予防

「予防に力を入れて、意欲を引き出す工夫を」

J.組織体制の見直し（専門性）

「専門性の高い職員の育成、専門部署の必要性」

後期事業の方向性

- a.事業の統廃合を進め、28事業を22事業に削減
- b.上手に使おう集会所(場所)＋介護予防教室(ソフト)＋インターネット放送局(情報発信)など連携強化
- b.障がい者の雇用創出事業と6次化推進事業を連携
※バジルペースト作りなどの取組みを拡大
- c.地域のキーマンを育成、自治会やNPOなど多様な主体と協働
※民間企業への委託は今後の課題
- d.新しい郷土かるたの制作などを通じて郷土愛を育む
- e.新しい村の運営主体を公募、農まちの拠点として立て直し
- f.東武動物公園駅西口の産業誘致をトップセールスで
- f.起業、雇用支援に新事業立ち上げ
※マルシェを通じたチャンレンジの場を提供、新しい金融支援の実施
- g.子育て広場を中心に「みんなで子育て」を応援
※老若男女が関わる子育てを実践、集会所などで出前講座も
- h.電車の広告や「みやしろで暮らそっ」を活用して町の良さをPR
- h.空き家の状況調査や不動産事業者と連携を図り、空き家問題に対応
- h.新たな観光情報紙を町外へ年間5万部配布
- i.予防を町全域に拡大、健康づくりの成果を見える可
- j.専門部署の必要性や職員の専門性について検討



後期実行計画事業一覧

①人、活動、地域をつなげる

1 地域交流サロン支援事業…6P (健康介護課)	集会所などを使った地域サロンを町内全域に拡大(14→30か所)。サロン運営を担う地域のキーマンを育成。
2 地域敬老会支援事業…7P (健康介護課)	町内全域で開催地区100%(58→79)を目指す。地域で高齢者を見守る仕組み。地域の人材発見。
3 介護予防・健康づくり活動支援事業…8P (健康介護課)	大学やNPOと連携して作ったキラキラ体操の普及。介護予防が健康増進につながる(見える可)の仕組みを構築。
4 防災コミュニティ促進事業…9P (町民生活課)	自主防災組織率100%を目指す。地域の防災リーダーを養成。防災無線を再構築して、地域で活用できる仕組みをつくる。
5 市民、活動、地域資源の縁結び事業…10P (町民生活課)	27年度から市民が運営を担う進修館を中心に市民活動を支援。ふるさと納税を活用してクラウドファンディングを充実。
6 上手に使おう集会所事業…11P (町民生活課)	サロン、敬老会、子ども会、夏休みの宿題、音楽サークルなど、地域に身近な集会所をもっと上手に使ってもらうための支援。
7 人権尊重平和事業…12P (総務課)	人権意識の啓発。人権教育の推進。平和の大切さを啓発。平和教育の推進。

②交流人口を増やす

8 宮代型観光推進事業…13P (産業観光課)	市民ガイドクラブや商工会、東武動物公園と連絡会を作り、観光事業をコラボ。新しい村を拠点にグリツリ体験。新たな観光情報紙の発行。
9 宮代町の魅力推進事業…14P (町民生活課)	森遊びや観察会など豊かな自然五楽体験を実施。町に興味を持ち、郷土愛を高める「宮代環境図鑑」の作成。
10 市民の活動をつなぐインターネット放送局…15P (総務課)	技術を習得した市民特派員を、町内の市民活動へ積極的に派遣。イベント告知やhow to動画などカテゴリを拡大。

③定住人口を増やす

11 みんなで子育て！こども未来事業・・・P16 (福祉課)	子育て広場を拠点として、地域皆で子育てを応援。子育て情報サイト構築。中高生向け子育て体験イベント開催。皆で子育て情報誌作成。
12 みやしろ定住促進作戦・・・P17 (企画財政課)	宮代で暮らそりリニューアル（宮代で働く。宮代いいところPR）。宮代の良さPRポスターを電車に掲載。空家の状況調査、活用
13 宮代ファーマーズタウン推進事業・・・P18 (産業観光課)	認定市民農園利用率80%。 市民農園応援フェアの実施。
14 道仏土地地区画整理周辺整備事業・・・P19 (まちづくり建設課)	宅地の利用開始100%。保留地販売促進。 エリア内に公園を2か所整備。
15,16 東武公駅東西口周辺整備事業・・・P20,21 (まちづくり建設課)	東武鉄道、地域住民、商工会と連携して、商業エリア整備を促進。 周辺道路を整備し、エリア全体の魅力向上。

④産業を結び、活かし、広げる

17 まちなか起業創業支援事業・・・P22 (産業観光課)	マルシェ（市場）を開催し、企業チャレンジの場を提供。専用Webサイトも構築。起業創業に向けた金銭的支援を新たに構築。
18 障がい者の雇用創出事業・・・P23 (福祉課)	農産物の加工など地域循環型産業をはじめ、多方面での就労を支援。 普及啓発、就労相談の実施。
19 宮代町農業の6次化推進事業・・・P24 ～農産物の生産・加工・販売の一体化～（産業観光課）	紫いもを中心とした加工品の年間供給体制の確保、PR。 新規10品目の加工品製品化支援。
20 明日の農業担い手支援事業・・・P25 (産業観光課)	担い手塾や里親制度を活用して、新規就農者を5人確保。 民間企業、法人等による農業参入を誘致。
21 宮代町農業生産基盤整備推進事業・・・P26 (産業観光課)	モデル地区を1か所選定して集落営農を推進。 農地の集積面積を拡大。

⑤公共施設の機能と役割の再編

22 公共施設再編第2期計画・・・P27 (企画財政課、教育推進課)	将来の人口減少、社会ニーズに備えて公共施設等総合管理計画を策定。 小中学校の適正配置、多機能化について検討。
---------------------------------------	---